

タオカこと片岡徹弥さん。雑誌や書籍、 アパレル、広告などにイラストを提供、各地で行われている個展には多くのファンが集まっています。鹿児島市が行った「クールチョイス」も担当しているので、ラッピング路面電車など目にしたこともあるのでは。現在は東京にお住まいですが、都城市立図書館でのワークショップや宮崎での個展など、こちらでの活動の場も広げています。

於市で小・中学校は過ごし、現在も実家 は末吉町にあります。幼い頃から絵を描くのが好きで「授業中にずっと落書きしてるタイプで絵を描く仕事がしたいとなんとなく思ってた」そう。高校3年生のときに美大を目指し美術部に入りますが、現役では不合格。美大への挑戦は諦め、1浪ののち宮崎市内の大学に進みました。

なんとなくの大学生活を送っていましたが、大 学3年生、就活の雰囲気が漂う頃、片岡さんの気 持ちは再度「デザイン」に向かい始めます。

「時期がきたらみんな当たり前のようにスーツ 着て就活っていう雰囲気に『なんだそれ?』って 思っちゃって。もちろん必要なことなんですけど」

そこでゼミの先生から東京にある専門学校「桑 沢デザイン研究所」の話を聞き、入ることを決意。 大学卒業後、夜間部に入学し2年間学びました。

「座学だけじゃなくて、友達と展示をしたり、 自分でアートブック作って販売もしました。その とき『絵を描いてお金になる』っていう体験がで きた。それで、これからも絵で生活できたらって」

卒業後は人との繋がりや個展などで仕事を広げ、 元々好きだったロックバンド「チャットモンチー」 のツアーグッズも担当しました。今ではイラスト だけでなく、彫刻や文筆なども手がけています。

プストレーターという肩書きにとらわれず、さまざまな分野で《表現》をしている片岡さん。実は曽於市のスゴイ人でした。

